

2025_1210 「大学構内の高台」日々の理科 4140 号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

私が勤務しているお茶の水女子大学は、武蔵野台地の東端の近くにあります。正確には、武蔵野台地の東端を、神田川やその支流の音羽川（現在は暗渠）、それに小石川（これも現在は暗渠）などが浸食した、「小石川・白山舌状台地（小石川・白山段丘）」上に位置しています。本来はおよそ平坦な地形のはずなのですが、音羽川が浸食した地形が非常に複雑で、更に「窪町」の地名の由来にもなった、深い谷もある為、大学は「谷に囲まれた島」のような高台に位置しています。

特に池袋方面は、音羽川の支流がつくった浸食谷を挟んで、「豊島ヶ岡陵墓（天皇・皇后以外の皇室の墓所）」の森があるので、眺望が抜群です・・・正確には、眺望が抜群でした。私が附属小学校に赴任した昭和の終わり頃は、この北グラウンド上の高台からは、池袋のサンシャイン 60 ぐらいしか見えませんでした。空が開けているので、私はこの高台でよく天体写真を撮影していたほどです。しかし約 40 年の間に背の高いマンションが、まるでゼビウスのようにニヨキニヨキ建設されて、景観はすっかり変わってしまいました。

（2025 年 12 月上旬／お茶の水女子大学構内）

